

5-3 大館南地域

(1) 地域の現況

地域の概要	
面積	96.62km ² 市全体の11%
人口	5,914人、市全体の8% ※2015(平成27)年 国勢調査
世帯数	1,966世帯、市全体の7% ※2015(平成27)年 国勢調査
15年間の人口増減	1,439人の減少(20%減) 2000(平成12)年7,353人から 2015(平成27)年5,914人へ ※国勢調査



地域を代表する主な施設等	
施設等	十二所体育館、地域包括支援センターおおたき、老犬神社、北部老人福祉総合エリア、北鹿ハリストス正教会聖堂、社会福祉協議会、上川沿出張所、十二所出張所
駅	大滝温泉駅、十二所駅、沢尻駅 (JR花輪線)
医療施設	秋田労災病院
学校	上川沿小学校、成章小学校、成章中学校
工業団地	—
公園緑地	根下戸地区米代川河川緑地
景観	三哲山、鞍掛山

大館南地域は、市の中央部から東部に位置し、東側が鹿角市に隣接する地域です。面積は96.62km²で、市全体の11%を占めています。

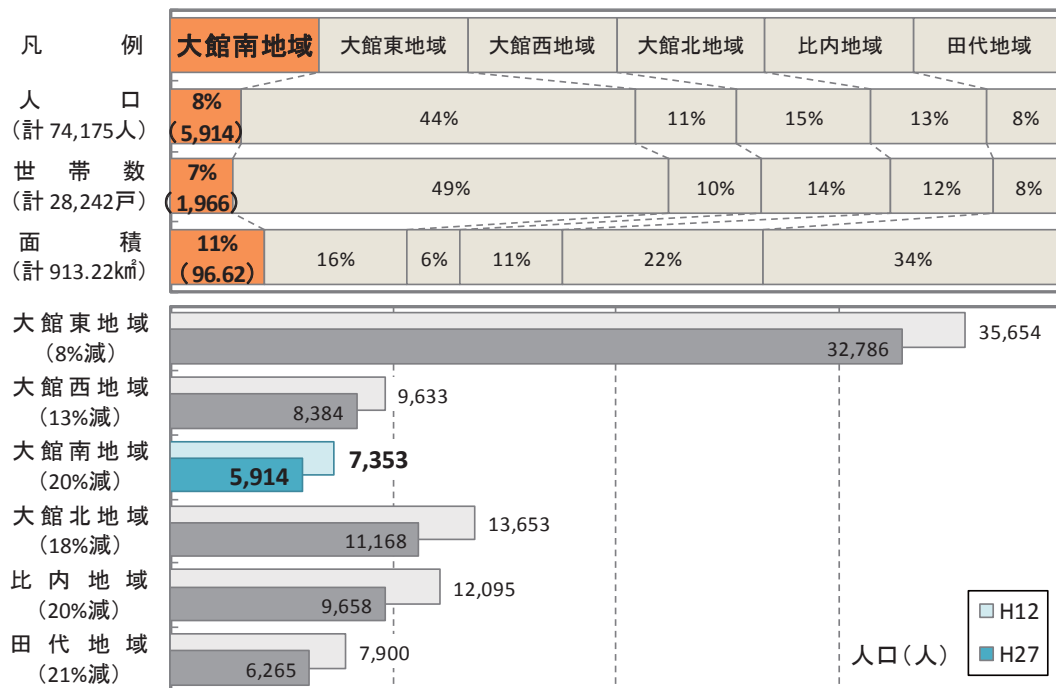
一級河川米代川が東部から北西部に流れ、北部から東南部は山地となっています。米代川沿いの平地は住宅地や農用地として利用され、伝統ある温泉町である大滝温泉や、高齢者福祉サービスの拠点である北部老人福祉総合エリアが立地し、憩いと賑わいの場となっています。農用地ではさまざまな複合農業が行われ、住民や観光客が農産物を求めて地域を訪れています。

【土地利用】

- 地域の大部分が森林に覆われ、米代川沿いの平地は農用地として利用されており、集落が点在しています。
- J R花輪線の駅周辺に宅地が集積しており、大滝温泉駅周辺は温泉町となっています。十二所駅周辺は、北部老人福祉総合エリアが整備され、高齢者福祉サービスの拠点となっています。
- （市）大町山館線（旧国道103号）沿道に、集落や商業地が広がっています。
- 北西部の農用地では野菜の生産が盛んであり、米代川沿いでは、稲作・畑作・果樹・酪農等の複合農業が行われています。

【人口・世帯】

- 人口5,914人で本市の8%、世帯数1,966世帯で本市の7%を占めています。1世帯当たりの人員は、3.0人となっています。
- 2000（平成12）年からの人口減少率は約20%であり、約1,400人減少しています。



資料：人口・世帯…2000（平成12）年、2015（平成27）年 国勢調査
面積…2014（平成26）年10月1日 GIS・国土の情報（全国都道府県市区町村の面積）
※端数の処理により、見かけ上の合計が100%とならない場合があります。

【文化・風景・特産物】

- 県指定文化財である北鹿ハリストス正教会聖堂のほか、多数の工芸が県・市指定文化財となっています。
- 三哲山や鞍掛山等が優れた山地景観を形成しています。
- 「ふるさと祭りおおみや」に「陽気な母さんの店」が出店する等、函館GC、首都圏イベント等において果樹等の物販を行い、市内農産物のPRを行っています。また、高品質の農産物を生産・加工することにより、体験事業を通じて、地域への人の呼び込みを図っています。

- 国道 103 号沿いには農産物の直売所が立地し、地域住民や観光客が、地域で収穫した新鮮な野菜や果物等を求めて集まっています。
- 十二所公民館では、老犬神社に祭られた忠犬シロの悲話をテーマにした語り部の集いが開催され、神社見学等も行われています。
- 別所地区は、優れた農村景観を維持している地域として「守りたい秋田の里地里山 50」に認定されています。

【観光レクリエーション】

- 伝統ある温泉町の大滝温泉をはじめとした市内の温泉地は、国民保養温泉地として指定されています。
- 北部老人福祉総合エリア等においてイベントが開催され、多くの賑わいを創出しています。
- 米代川は鮎釣りとして全国的に知名度が高く、特に大滝温泉周辺は釣り客が多くなっています。

【主要公共施設】

- 北部老人福祉総合エリアを中心に福祉施設が立地し、秋田労災病院等の医療施設も立地しています。
- 北西部に大館南 I C が立地し、自動車交通の分岐点となっています。

【交通基盤】

- J R 花輪線が国道 103 号と並走しており、大滝温泉駅、十二所駅、沢尻駅の 3 つの駅が立地しています。
- 国道 103 号が東西を横断しており、主要幹線道路となっています。北西部の大館南 I C につながる国道 103 号大館南バイパスが整備されています。
- 秋田市から続き国道 103 号につながる国道 285 号と、鹿角市につながる（主）十二所花輪大湯線が幹線道路となっています。

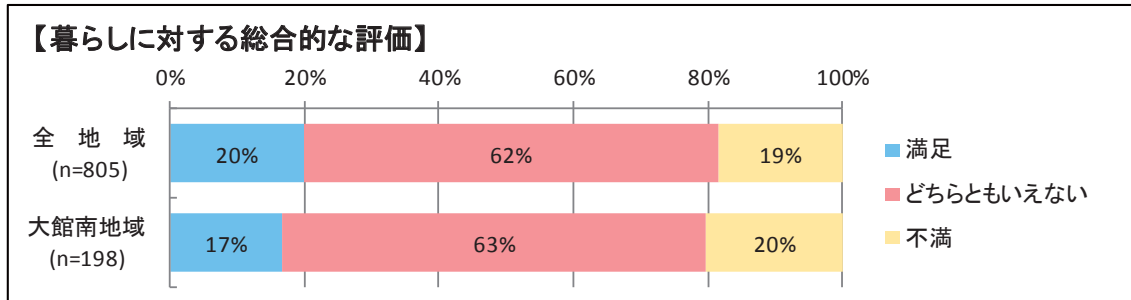
【まちづくり活動】

- 2017（平成 29）年の根下戸地区米代川河川緑地の整備に合わせ、国土交通省河川協力団体制度を活用して根下戸米代川公園管理組合が設立され、住民参加による維持管理を行っています。
- 上川沿・成章小学校、成章中学校では、ふるさとキャリア教育の一環として、果物や枝豆を活かした栽培・販売体験や、花ボランティア等の活動を行っています。
- 葛原自治会による老犬神社周辺の環境整備等、地域応援プランを活用した地域活性化の取り組みが行われています。

【市民アンケート】

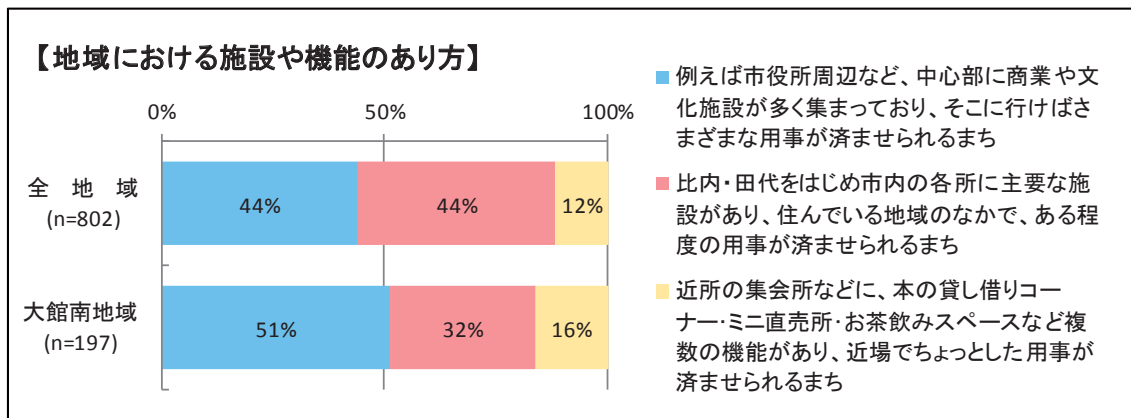
○市民アンケートのうち、全体の約24%が大館南地域（上川沿・十二所）に居住している方の回答となっています。市全体の結果と比較し、大館南地域の回答の一部をとりまとめます。

○大館南地域では、本市における総合的な暮らしやすさについて、「どちらともいえない」と回答した方の割合が約6割と最も多く、「満足」・「不満」がそれぞれ約2割と、市全体と類似した傾向となっています。



※端数の処理により、見かけ上の合計が100%とならない場合があります。

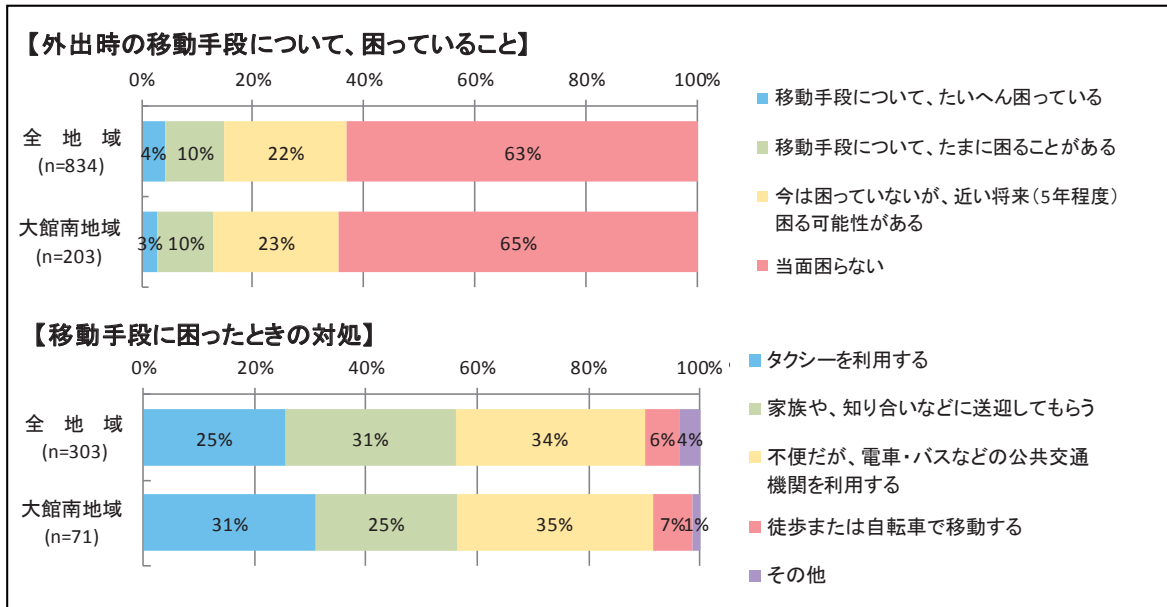
○地域における施設や機能のあり方について、「例えば市役所周辺等、中心部に商業や文化施設が多く集まっており、そこに行けばさまざまな用事が済ませられるまち」を目指したいと回答する方の割合が約5割となり、市全体と比較してやや高くなっています。



※端数の処理により、見かけ上の合計が100%とならない場合があります。

○外出時の移動手段に困ることについて、移動手段に「当面困らない」が最も多く、市全体と類似した傾向となっています。

○移動手段に困ったときは「公共交通機関を利用する」、「タクシーを利用する」という回答がそれぞれ約3割を占めています。市全体と比較して、「タクシーを利用する」と回答した人の割合がやや高くなっています。



※端数の処理により、見かけ上の合計が100%とならない場合があります。



写真 北部老人福祉総合エリア

(2) まちづくりの課題と方針

豊かな自然の中で生産されるネギや山の芋、枝豆、りんご、アスパラガス等の農作物のほか、中山地区では中山そば、中山なし等の地域を代表する特産品が生産されています。

市民ワークショップでは、さまざまな年代の人が温泉を活用して交流を図り、地域の魅力を広く発信しながら、元気に暮らし続ける地域にしたいという意見が挙げられました。

大滝温泉や、北部老人福祉総合エリアのさらなる利活用を図り、いつまでも健康で安心して暮らせるまちを目指して、人々の交流を促進する地域づくりを進める必要があります。

これらを踏まえ、将来像を「私たちのホームタウン！大館南の魅力を見つけて、世界に発信しよう」と掲げ、全体構想で定めた5つの柱のうち、地域に関連する4つの柱についてまちづくりに関する課題と方針をとりまとめます。

<大館南地域が目指す姿の概要>

現況・課題

【土地利用】	【地域の力】	【資源】	【機能】
<ul style="list-style-type: none"> ・居住や商業に関する環境づくりが求められる。 ・豊かな景観の保全が求められる。 	<ul style="list-style-type: none"> ・住民による地域づくりのさらなる推進が期待される。 ・郊外部の集落における日常生活サービスの確保等が懸念。 	<ul style="list-style-type: none"> ・特産品の活用が求められる。 ・歴史や温泉を活かした観光拠点の形成が求められる。 	<ul style="list-style-type: none"> ・保健・医療・福祉の充実した安心居住エリアの形成が求められる。

大館南地域 将来像

私たちのホームタウン！
大館南の魅力を見つけて、世界に発信しよう

まちづくりの方針

1	土地利用がもっと充実する	居住環境や商業環境、ふるさとの風景である山地・農村景観を維持するため、計画的な土地利用を推進します。
2	もっと地域の力を活用する	訪れた人を地域住民自らがもてなし、地域の魅力を発信できるような環境づくりを推進します。
3	もっと資源をつなげる	歴史や温泉といった多様な資源を連携させ、回遊できる観光まちづくりを推進し、人々を呼び込む機会の向上を図ります。
4	もっと機能をつなげる	公共交通の利便性を確保しながら、北部老人福祉総合エリアを活用し、安心して暮らし続けることができる環境づくりを進めます。

＜4つの柱に基づくまちづくりの課題と方針＞

1 土地利用がもっと充実する

【課題】 居住環境や商業環境を維持するために、計画的な土地利用が求められます。

▶ 【方針】

- 国道103号沿いやJR花輪線の各駅周辺を中心に形成されている居住空間について、安心して暮らせる基盤整備を図ります。
- 国道103号沿道については、地域の野菜や果実を販売する直売施設が立地する商業環境を維持しつつ、計画的な土地利用を図ります。

【課題】 米代川沿いに広がる農地等、基盤産業を支える農用地の確保が求められます。

▶ 【方針】

- 農業の担い手を安定して確保し、付加価値が高く多角的な農業生産活動を推進するため、上川沿地区や浦山地区におけるほ場整備事業を進めます。

【課題】 ふるさとの風景である、優れた山地・農村景観の保全が求められます。

▶ 【方針】

- 優れた山地景観を守るため、森林が持つ防災機能や水源のかん養、生態系の保全等に配慮し、森林事業等と連携しながら、適正な管理・整備を図ります。
- 別所地区を代表とした美しい農村景観を維持するため、農業施策と連携しながら、これら農地の維持・保全を図ります。

2 もっと地域の力を活用する

【課題】 郊外部等の農林業を支える地域は、地域コミュニティの維持や生活機能の確保等が困難になることが懸念されます。

▶ 【方針】

- 農林業振興や景観・環境保全等の関係施策と連携するとともに、小さな拠点の形成について検討を進めます。

【課題】 居住空間と土砂災害危険区域が近接している箇所があり、対策が求められます。

▶ 【方針】

- 居住空間と土砂災害危険区域が近接している箇所については、秋田県が行う土砂災害対策に基づき、危険箇所の周知に努め、安全な地域づくりを推進します。

【課題】ふるさとキャリア教育や市民ワークショップを通して、地域づくりについて考える気運が高まり、これらの取り組みを継続・活性化することが求められます。

▶ 【方針】

- ふるさとキャリア教育や地域応援プランによる地域づくりを継続し、子どもから高齢者まで、あらゆる年代・立場の人々の交流を推進します。
- まち歩き等を通して、歴史や温泉といった資源が持つ魅力を発見・発信し、さらなる賑わいを創出できるような地域づくりを推進します。
- 葛原自治会による老犬神社周辺の環境整備等、地域応援プランを活用した地域住民の取り組みをさらに推進します。

3 もっと資源をつなげる

【課題】大滝温泉や北鹿ハリストス正教会聖堂、鮎釣り等、多様な観光レクリエーション資源を活用した観光交流拠点の形成が求められます。

▶ 【方針】

- 伝統ある温泉町の大滝温泉は、周辺に立地する公共施設との連携を図りながら、さらなる活性化を目指します。
- 地域を代表するイベントとして、大滝温泉を含めたONSEN・ガストロノミーツーリズムを開催し、名所旧跡等を積極的にPRして他地域との交流を深めます。

【課題】野菜や果物等、地域の農産物を活用し、回遊できる観光の企画が求められます。

▶ 【方針】

- 引き続き農産物の品質を確保し、首都圏イベント等における物販やPRを行い、地域へ人を呼び込む機会づくりを推進します。
- ガストロノミーウォーキングと温泉宿への宿泊、体験型観光と民泊等、来訪者が回遊できる事業の展開を図ります。

【課題】美しい山地景観や河川環境等、身近な自然環境を後世へ残していくことが求められます。

▶ 【方針】

- 三哲山や鞍掛山等、豊かな山地景観の維持・保全を図ります。
- 根下戸地区米代川河川緑地について、根下戸米代川公園管理組合との協働で、地元の町内会が中心となった維持管理を進めます。

4 もっと機能をつなげる

【課題】既存の施設、機能を活かしながら、安心して暮らせる居住エリアを形成することが求められます。

【方針】

- 北部老人福祉総合エリアを中心に、保健・医療・福祉の充実した安心居住エリアを目指し、歩きやすい歩行空間の確保や歩車道の段差解消等を進めるとともに、ベンチの設置による休憩空間の創出等、人にやさしい道路整備を図ります。
- 北部老人福祉総合エリアは、県北地域の福祉の中核を形成していることから、地域の医療機関等との連携を強化しながら、親子で楽しめる環境整備等、さらなる機能の充実を進めます。

【課題】市民ワークショップでは、利便性の高い公共交通機関の確保、買い物バスや送迎バス等、路線バス以外の交通手段に関する意見が挙げられています。

【方針】

- 地域のニーズ・需要に見合った多様な運行形態による交通手段を検討し、誰もが安心して外出できる環境を整備します。
- 商業施設や病院と連携したバス運行やスクールバスの活用、学校と連携した利用促進策の実施等、産学官が連携した交通サービスの提供や公共交通利用促進策等に向けて取り組みます。



写真 農業体験の様子

大館南地域のまちづくり方針

1 土地利用がもっと充実する

居住環境や商業環境、ふるさとの風景である山地・農村景観を維持するため、計画的な土地利用を推進します。

3 もっと資源をつなげる

歴史や温泉といった多様な資源を連携させ、回遊できる観光まちづくりを推進し、人々を呼び込む機会の向上を図ります。

2 もっと地域の力を活用する

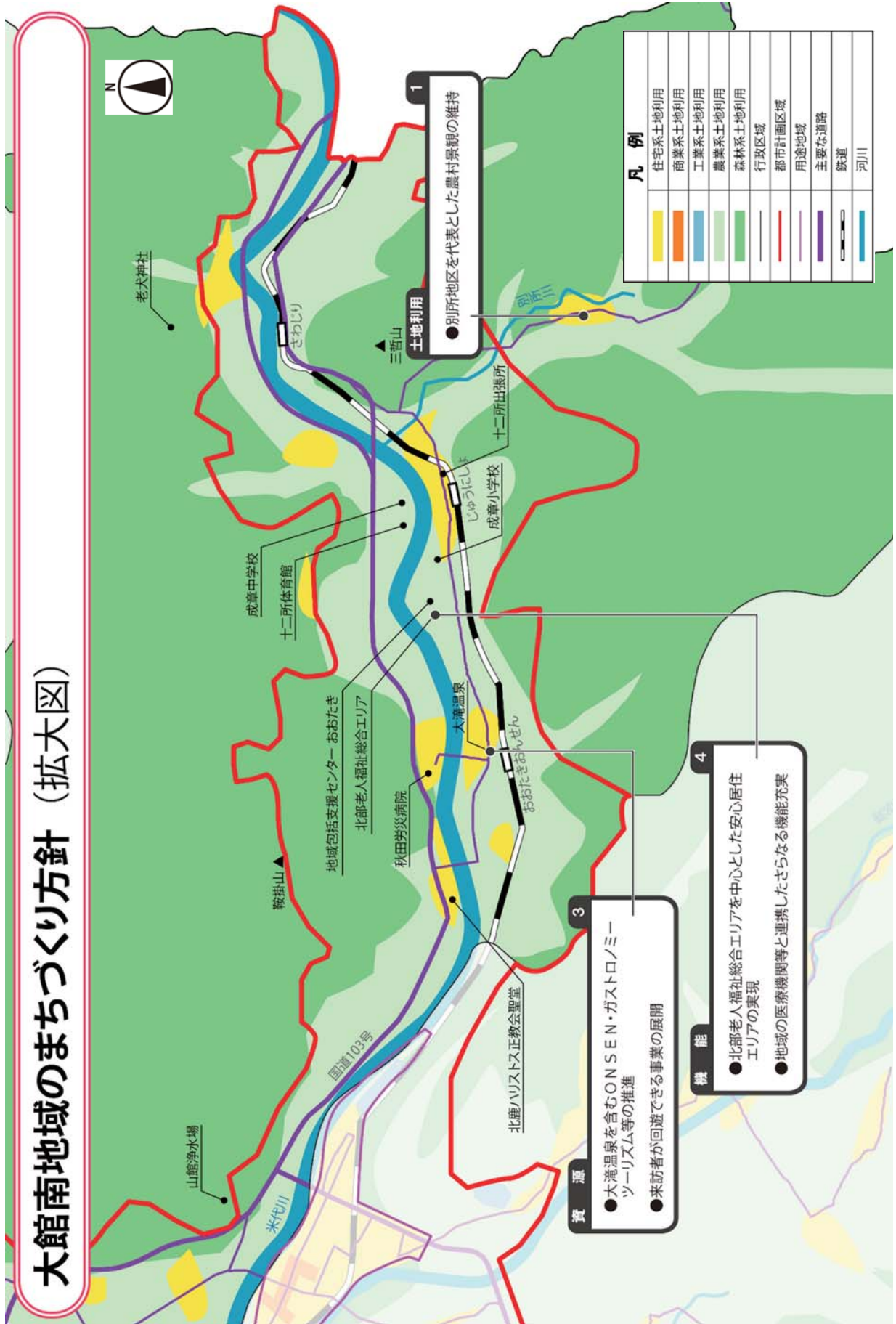
訪れた人を地域住民自らがもてなし、地域の魅力を発信できるような環境づくりを推進します。

4 もっと機能をつなげる

公共交通の利便性を確保しながら、北部老人福祉総合エリアを活用し、安心して暮らし続けることができる環境づくりを進めます。



大館南地域のまちづくり方針（拡大図）



コラム ～未来の日常をイメージしよう～

高齢者福祉サービスの拠点である北部老人福祉総合エリアが立地し、温泉や文化財、農産物等の魅力を活かした観光まちづくりを推進する大館南地域では、10年後にどのような暮らしをしているのでしょうか？

市民ワークショップで得られた意見を踏まえながら考えてみましょう。

- ・住民と一緒にできるサロン等、これからは人が集まる場づくりが必要！
- ・歴史資源や観光、食べ物等、豊かな資源を連携して活かしていきたい
- ・それぞれの世代に合わせて、みんなが楽しめる取り組みを進めていきたい

「**北部老人福祉総合エリアを拠点にしたにぎわいづくり**」が
実現できた未来における日常を、具体的にイメージします。

○北部老人福祉総合エリアを活用！

- ・北部老人福祉総合エリアは気軽に集える場として活用され、住民による地域づくりや取り組みについて情報交換するきっかけとなっている。その中から、自らサロンづくりを始めてみる等、自分にできることを見つけて実現するための仕組みが確立している。
- ・お互いに新たな視点や元気をもらえる場として、世代間交流事業の取り組みがさらに活発になっている。

○地域の魅力を広く発信！

- ・温泉や農産物についてY o u T u b e等で発信し、地域のPRを進めている。各地の催しに出店した陽気な母さんの店は常に賑わい、講演会も広く行われている。
- ・歴史を学んだ子どもたちによる観光ツアーが開催され、地域の魅力をわかりやすく伝えるための機会が多くなっている。

○充実したライフスタイルの確立！

- ・公共交通が充実し、電車・バスの利用者が増加している。仕事を早く終えて飲みに行き、最終バスで帰宅するような、活力あふれる働き方ができている。
- ・送迎バスやコミュニティバスを利用し、自由に買い物等の外出を楽しむことができる。

○住民参加による地域活性化！

- ・町内会による取り組みが進められ、地域応援プランがますます活用されている。
- ・根下戸米代川公園管理組合により、根下戸地区米代川河川緑地の環境整備やパトロールが日々行われており、人々が安心して利用できる憩いの場づくりが進められている。
- ・隣接する比内地域とともに喫茶店や情報スペースを活用し、情報交換を行いながら、一体となった地域づくりが進められている。

○地域の宝物がさらに輝く！

- ・大滝温泉を拠点に、地域の食や歴史資源を巡るONS EN・ガストロノミーツアーが開催され、市内外からの参加者で賑わっている。
- ・子どもたちは、地元の企業や地域資源を活かした仕事について学ぶ機会があり、地域で働いて楽しく暮らすイメージを持っている。